

(様式1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	79	事業名	原町第三小学校トイレ改修事業	事業番号	(1)-15-15
交付団体		南相馬市	事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費		(1,515) 30,133(千円)	全体事業費	(1,515) 30,133(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>原子力災害により、当市の安全・安心な住環境の魅力は著しく低下しており、放射能不安により子供の安全を危惧する保護者の中には帰還を躊躇する方もいる。結果、子育て世代の人口は回復せず、地域の人口は減少し、地域のつながりや、人との交流も希薄となることが危惧される。</p> <p>このような中、学校は教育に欠かせない重要施設であるとともに、地域の防災施設、コミュニティー施設としても重要な役割を担っている。原町区内における義務教育施設である原町第三小学校は、原子力災害の影響による避難を余儀なくされ、避難指示区域から区域外修学していた生徒を含め、8年を過ぎた現在でも次のとおり生徒数が震災前の状況まで回復できていない。</p> <p>○原町第三小学校 平成22年度 538人 → 令和元年度 321人(約59.7%)</p> <p>このため、本事業により避難に伴い劣化が進んだトイレの洋式化、床の乾式化等を行うことにより、衛生的な教育環境を提供し学校としての魅力を高めるとともに、高齢者や、障害者も利用しやすくすることで地域の避難施設としての防災機能も併せて高めることとなる。地域に密着した教育施設の機能及び魅力を向上させることにより、児童や保護者及びこれからの子育て世代に安心安全感を醸成し、もって地域への住民の帰還、再生加速化を図る。</p>					
事業概要					
<p>原町第三小学校トイレ改修 便器の洋式化、床の乾式化等 【南相馬市復興総合計画 後期基本計画 政策の柱1 教育・子育て】P29 基本施策1 学校教育 施策3 学校環境の整備 主な取組 トイレ洋式化の促進</p>					
当面の事業概要					
<p><令和元年度> 原町第三小学校トイレ改修実施設計業務 <令和2年度> 原町第三小学校北校舎トイレ(男女各2箇所)改修工事 ・工事内容 便器の洋式化、床の乾式化、トイレブース改修、照明・換気設備等の更新、壁面塗装等</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>教育環境を改善することによって、保護者が安心して子供を学校に通わせることができ、子どもたちも安心して快適な学校生活を送ることができる条件が整う。このような地域に密着した教育環境の改善は、地域の帰還環境の重要な要素であり、避難住民に対し帰還に向けた条件の改善を確認してもらうことができる。</p>					

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	93	事業名	石神第二小学校屋内運動場トイレ改修事業	事業番号	(1)-15-18
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	3,296(千円)		全体事業費	33,296(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>原子力災害により、当市の安全・安心な住環境の魅力は著しく低下しており、放射能不安により子供の安全を危惧する保護者の中には帰還を躊躇する方もいる。結果、子育て世代の人口は回復せず、地域の人口は減少し、地域のつながりや、人との交流も希薄となることが危惧される。</p> <p>このような中、学校は教育に欠かせない重要施設であるとともに、地域の防災施設、コミュニティー施設としても重要な役割を担っているものの、原町区内における義務教育施設である石神第二小学校は、原子力災害の影響による避難を余儀なくされ、避難指示区域から区域外修学していた生徒を含め、8年を過ぎた現在でも次のように生徒数が震災前の状況まで回復できていない。</p> <p>○石神第二小学校 平成22年度486人 → 令和元年度 271人(約55.8%)</p> <p>本事業により、便器の洋式化、床の乾式化等を行うことは、施設の利便性の向上、衛生的な教育環境を提供し、学校としての魅力を高めるとともに、高齢者や、障害者も利用しやすくすることで、地域避難施設として防災機能も併せて高めることとなる。地域に密着した教育施設の機能及び魅力を向上させることにより、児童生徒や保護者及びこれからの子育て世代に安心安全感を醸成し、もって地域への住民の帰還、再生加速化を図る。</p>					
事業概要					
<p>石神第二小学校屋内運動場トイレ改修工事 便器の洋式化、床の乾式化等</p> <p>【南相馬市復興総合計画 後期基本計画】政策の柱1 教育・子育て P29 基本施策1 学校教育 施策3 学校環境の整備 主な取組 トイレ洋式化の促進</p>					
当面の事業概要					
<p><令和2年度></p> <p>石神第二小学校屋内運動場トイレ改修設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none">・工事内容 便器の洋式化、床の乾式化、トイレブース改修、照明・換気設備等の更新、壁面塗装等・改修箇所 男女合計5か所 <p><令和3年度></p> <p>石神第二小学校屋内運動場トイレ改修工事</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>教育環境を改善することによって、保護者が安心して子供を学校に通わせることができ、子どもたちも安心して快適な学校生活を送ることができる条件が整う。このような地域に密着した教育環境の改善は、地域の帰還環境の重要な要素であり、避難住民に対し帰還に向けた条件の改善を確認してもらうことができる。</p>					

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	94	事業名	太田小学校屋内運動場トイレ改修事業	事業番号	(1)-15-19
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	3,296(千円)		全体事業費	33,296(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>原子力災害により、本市の安全・安心な住環境の魅力は著しく低下しており、放射能不安により子供の安全を危惧する保護者の中には帰還を躊躇する方もいる。結果、子育て世代の人口は回復せず、地域の人口は減少し、地域のつながりや、人との交流も希薄となることが危惧される。</p> <p>このような中、学校は教育に欠かせない重要施設であるとともに、地域の防災施設、コミュニティー施設としても重要な役割を担っているものの、原町区内における義務教育施設である太田小学校は、原子力災害の影響による避難を余儀なくされ、避難指示区域から区域外修学していた生徒を含め、8年を過ぎた現在でも次のように生徒数が震災前の状況まで回復できていない。</p> <p>○太田小学校 平成22年度133人 → 令和元年度 49人(約36.8%)</p> <p>本事業により、便器の洋式化、床の乾式化等を行うことは、施設の利便性の向上、衛生的な教育環境を提供し、学校としての魅力を高めるとともに、高齢者や、障害者も利用しやすくすることで、地域避難施設として防災機能も併せて高めることとなる。地域に密着した教育施設の機能及び魅力を向上させることにより、児童生徒や保護者及びこれからの子育て世代に安心安全感を醸成し、もって地域への住民の帰還、再生加速化を図る。</p>					
事業概要					
太田小学校屋内運動場トイレ改修工事 便器の洋式化、床の乾式化等					
【南相馬市復興総合計画 後期基本計画】政策の柱1 教育・子育て P29 基本施策1 学校教育 施策3 学校環境の整備 主な取組 トイレ洋式化の促進					
当面の事業概要					
<令和2年度> 太田小学校屋内運動場トイレ改修設計業務委託 ・工事内容 便器の洋式化、床の乾式化、トイレブース改修、照明・換気設備等の更新、壁面塗装等 ・改修箇所 男女合計4か所					
<令和3年度> 太田小学校屋内運動場トイレ改修工事					
地域の帰還環境整備との関係					
教育環境を改善することによって、保護者が安心して子供を学校に通わせることができ、子どもたちも安心して快適な学校生活を送ることができる条件が整う。このような地域に密着した教育環境の改善は、地域の帰還環境の重要な要素であり、避難住民に対し帰還に向けた条件の改善を確認してもらうことができる。					

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	95	事業名	石神第二小学校グラウンド改修事業	事業番号	(1)-15-20
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	23,186(千円)		全体事業費	23,186(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>原子力災害により本市の住環境の魅力は著しく低下しており、放射線被曝の不安により子供の安全を危惧し、帰還を躊躇する保護者もいる。結果、子育て世代の人口は回復せず、地域の人口は減少し、地域のつながりや人との交流も希薄となることが危惧される。</p> <p>現在でも生徒数は震災前の状況まで回復できていない。</p> <p>○石神第二小学校 平成22年度486人 → 令和元年度 271人(約55.8%)</p> <p>石神第二小学校は、福島第一原発から30キロ圏内にあったため、震災後の授業を鹿島区の上真野小学校で再開した。授業を再開した上真野小学校まで石神第二小学校体育館から大型スクールバスにより児童が登校したため、グラウンドに砂利を敷いてバスが体育館横まで進入できるようにし、児童の安全を確保した。上真野小学校の授業は翌年の2月で終了したが、校区外に避難した児童の登校下校や児童クラブへの送り届けなどでスクールバスの利用は平成30年度末まで継続したため、これまでグラウンドに敷いた砂利を撤去することができなかった。</p> <p>砂利を敷いた箇所はグラウンド全体の1/4程度を占め、屋外での授業に支障をきたしているほか、のびのびと遊ぶこともできない状態にある。</p> <p>本事業によって原発事故前のグラウンド面積を回復すべく表土改良を行い、子ども達のがのびのびと活動できる環境を回復し、教育環境を改善することにより地域への帰還、地域の再生加速化を図るものである。</p>					
事業概要					
石神第二小学校グラウンド改修工事					
(1) 砂利部分撤去 2,258 m ²					
(2) 表土改修 3,661 m ³					
【南相馬市復興総合計画 後期基本計画 政策の柱1 教育・子育て】P29					
基本施策1 学校教育 施策3 学校環境の整備 主な取組 校庭の表土改善と雨水排水対策					
当面の事業概要					
<令和2年度>					
グラウンド表土改修工事					
地域の帰還環境整備との関係					
教育環境を改善することによって保護者が安心して子供を学校に通わせることができ、子供たちも原発事故前と変わらない環境でのびのびと学校生活を送ることができる。このように地域に密着した教育環境の改善は帰還環境の重要な要素であり、避難住民に対し帰還に向けた条件の改善を確認してもらうことができる。					

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	